

令和6年度（2024年度）  
予算補足説明資料  
（境港市公共下水道事業会計）

境港市

# 目 次

当初予算總括表（収益の収入・支出）	・・・・・・・・・・	1
収益の収入	・・・・・・・・・・	2
収益の支出	・・・・・・・・・・	3
当初予算總括表（資本の収入・支出）	・・・・・・・・・・	15
資本の収入	・・・・・・・・・・	16
資本の支出	・・・・・・・・・・	17

# 令和6年度 境港市公共下水道事業会計 当初予算総括表

## 収益的収入

(単位：千円)

款 項	目	令和6年度	令和5年度	増 減	主 な 内 容	資料 A°-シ
1.	下水道事業収益	1,467,310	1,412,879	54,431		-
	1. 営業収益	561,718	605,512	△43,794		-
	1. 下水道使用料	517,838	508,860	8,978	下水道使用料（現年度分）	2
	2. 他会計負担金	37,457	90,907	△53,450	一般会計負担金（雨水処理経費分）	2
	3. その他営業収益	6,423	5,745	678	手数料（排水設備工事業者指定手数料等） 雑収益（米子市汚水処理委託料等）	490 5,933 2
	2. 営業外収益	905,592	807,025	98,567		-
	1. 受取利息及び配当金	5	1	4	普通預金利息、水洗便所等改造資金融資預託金利息	2
	2. 他会計負担金	444,884	40,165	404,719	一般会計負担金（し尿・浄化槽汚泥処理分） 分流式下水道に要する経費等（利子・減価償却） 水洗化普及、下水の水質規制に要する経費 特別措置債、公営企業法適用債等の支払利息	39,031 393,863 9,242 2,748 2
	3. 他会計補助金	26,684	339,665	△312,981	一般会計補助金（下水道使用料減免に要する経費分：製造業減免）	2
	4. 国庫補助金	7,500	16,200	△8,700	防災・安全交付金	2
	5. 長期前受金戻入	394,197	384,015	10,182	償却した長期前受金の額のうち営業外収益として整理する現金収入を伴わない収益	2
	6. 消費税及び地方消費税還付金	32,288	26,936	5,352	本年度の事業活動に係る消費税及び地方消費税還付金の見込額	2
	7. 雑収益	34	43	△9	行政財産使用料等	2
	特別利益	0	342	△342		/
	その他特別利益	0	342	△342	※前年度分消費税及び地方消費税還付金（移行初年度のみ）	/

## 収益的支出

(単位：千円)

款 項	目	令和6年度	令和5年度	増 減	主 な 内 容	資料 A°-シ
1.	下水道事業費	1,356,868	1,360,807	△3,939		-
	1. 営業費用	1,206,015	1,204,129	1,886		-
	1. 管渠費	39,902	60,853	△20,951	動力費（マンホールポンプ等電気料） 委託料（保守委託料・河口開閉委託料等） 工事請負費（マンホール蓋交換工事費等）	2,932 17,846 17,133 3
	2. ポンプ場費	3,232	5,024	△1,792	動力費（下ノ川中継ポンプ場電気料） 委託料（保守委託料等）	1,679 1,299 4
	3. 処理場費	254,103	244,283	9,820	職員人件費（3人） 備用品費（水質試験・機械電気他消耗品等） 動力費（下水道センター電気料、A重油） 薬品費（水処理用減菌剤、凝集剤等） 修繕費（消耗部品機器修繕料等） 委託料（運転委託料、保守委託料等）	20,074 2,971 39,616 15,642 4,865 166,784 5
	4. 普及指導費	6,102	5,546	556	職員人件費（1人） 手数料（水洗便所等改造資金融資等）	5,342 670 7
	5. 業務費	15,498	14,862	636	職員人件費（1人） 通信運搬費（納付書・通知書等郵送料） 手数料（公金収納取扱手数料等） 委託料（使用料賦課資料作成業務）	6,996 3,933 1,354 2,450 8
	6. 総係費	34,081	30,069	4,012	職員人件費（3人、会計年度任用職員1人） 委託料（保守委託料、指導委託料） 貸倒引当金繰入額（現年度下水道使用料）	28,262 4,395 1,048 10
	7. 減価償却費	853,047	842,315	10,732	有形固定資産減価償却費 無形固定資産減価償却費	845,905 7,142 12
	8. 資産減耗費	50	1,177	△1,127	有形固定資産除却費（更新機械設備・破損機器等）	13
	2. 営業外費用	149,759	140,993	8,766		-
	1. 支払利息及び企業債取扱諸費	149,759	140,993	8,766	下水道事業債利息（長期借入金利子償還金） 一時借入金利息	149,259 500 14
	3. 特別損失	94	13,685	△13,591		-
	1. 過年度損益修正損	94	60	34	過年度下水道使用料還付金	無
	その他特別損失	0	13,625	△13,625	※過年度貸倒引当金、前年度賞与等引当金（移行初年度のみ）	/
	4. 予備費	1,000	2,000	△1,000		-
	1. 予備費	1,000	2,000	△1,000	予備費	無

(単位：千円)

## 公共下水道事業会計 収益的収入

## (款) 1. 下水道事業収益 (項) 1. 営業収益

目 名	説 明
1 下水道使用料 517,838	下水道使用料(現年度分) 2か月当たり200m <sup>3</sup> 以下 60,636件見込 340,804 2か月当たり200m <sup>3</sup> 超 447件見込 177,034
2 他会計負担金 37,457	雨水処理に要する費用に対する一般会計負担金 雨水処理に関する減価償却費分(元金除く) 14,403 下水道事業債のうち雨水処理に係る支払利息 13,983 河川清掃等の雨水処理に関する維持管理費 9,071
3 その他営業収益 6,423	手 数 料 490 督促手数料(下水道使用料)、排水設備工事指定業者指定手数料 雑 収 益 5,933 米子市汚水処理委託料(米子市旭が丘団地汚水処理委託金)

## (款) 1. 下水道事業収益 (項) 2. 営業外収益

目 名	説 明
1 受取利息及び配当金 5	普通預金利息、水洗便所等改造資金融資預託金利息
2 他会計負担金 444,884	し尿・浄化槽汚泥の処理費用に対する一般会計負担金 39,031 収益的支出に対する一般会計負担金 分流式下水道等に要する経費(利子及び減価償却分) 393,863 下水道に排除される下水の規制に関する事務経費 5,469 水洗便所に係る改造命令等に関する事務経費 3,773 災害復旧費の償還に要する経費(利息分) 1 特別措置債の償還に要する経費(利息分) 2,319 地方公営企業法の適用に要する経費(利息分) 428
3 他会計補助金 26,684	収益的支出に対する一般会計補助金 下水道使用料減免に要する経費(製造業減免)
4 国庫補助金 7,500	収益的支出に対する国庫補助金 防災・安全交付金(県道マンホール蓋交換工事)
5 長期前受金戻入 394,197	当該年度の減価償却費に対応する過去に受け入れた国庫補助金や受益者負担金等の財源相当額を収益として計上。(現金収入を伴わない金額)
6 消費税及び地方 消費税還付金 32,288	令和6年度当初予算分の消費税及び地方消費税の還付額。 単年度での収益的収入支出の実態を把握するため、現年度予算に計上するが、消費税の確定申告は翌年度の実施となる。
7 雑 収 益 34	行政財産占用使用料、消費税及び地方消費税還付加算金 33 延滞金(下水道使用料) 1

区分	款	項	目	目名	種別
収益的支出	1	1	1	管渠費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	マンホールポンプ11か所（深田川、三軒屋東、三軒屋西、竜ヶ山、弥生、渡中央、渡北、渡西、渡町、外江南、外江北）を含む既設污水管渠施設と、雨水が集まる水路を適切に管理することにより、市民の衛生的で安全な生活環境の確保を図る。
-------	---

事業概要	管渠・マンホール・公共柵等の修繕、下水道台帳更新、汚水を汲上げまたは圧送するためのマンホールポンプの修繕、運転経費等の污水管渠施設維持管理に係る経費、下水道整備区域内の水路清掃、河口開削、修繕等の雨水排水施設維持管理に係る経費。
------	--

現状、背景、課題	マンホールポンプは平成10年度に三軒屋東・深田川、平成11年度に竜ヶ山、平成12年度に三軒屋西、平成25年度に弥生、平成28年度に渡中央、平成29年度に渡北、令和元年度に外江南、渡西、令和4年度に渡町、令和5年度に外江北の計11か所を整備している。 既存の污水管渠、マンホール、公共柵、水路等の老朽化が進み、修繕等の維持管理経費が増加傾向にある。
----------	--

事業計画・効果	各施設の機能維持や安全性の確保を図るため、年次的に修繕等を含む機器点検を実施する。 マンホールポンプ機器点検（修繕、部分更新・点検整備・消耗品更新） 令和5年度 5,913千円（深田川マンホールポンプ機器点検整備ほか） 令和6年度 6,012千円（渡中央・竜ヶ山マンホールポンプ機器点検整備ほか） 令和7年度以降も順次、弥生・渡中央マンホールポンプ制御盤整備等を実施する予定。
---------	--

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		60,853	39,902	△ 20,951	23,331			下水道使用料	
財源内訳	国庫支出金	16,200	7,500	△ 8,700	9,071			他会計負担金(雨水維持管理)	
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	44,653	32,402	△ 12,251					
一般財源		0	0	0					

令和6年度支出内訳	備用品費	消耗品費（消耗機械部品等）、機械器具費（投込式水位計）	1,037
	動力費	マンホールポンプ電気料金、排水樋門・護岸排水ポンプ電気料金	2,932
	修繕費	市内既設11か所のマンホールポンプ機器等修繕費	330
	手数料	電気保安業務手数料(非常用発電機)	112
	保険料	下水道賠償責任保険料	146
	委託料	下水道台帳更新業務、污水管渠調査業務（下水道管渠年間点検委託）、マンホールポンプ清掃点検・機器点検整備、雨水幹線除草清掃、河口開削業務ほか	17,846
	賃借料	用具借上料（マンホールポンプ非常用発電機3台）、土地借上料	366
	工事請負費	県管理道マンホール蓋交換工事、既設污水管渠補修、雨水幹線等補修	17,133

区分	款	項	目	目名	種別
収益的支出	1	1	2	ポンプ場費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	下ノ川中継ポンプ場の維持管理を適正に行うことにより、市民の衛生的で快適な生活環境の確保を図る。
-------	---

事業概要	境地区などから排出された汚水を佐斐神町にある終末処理場（下水道センター）へ集めるため、異物を取り除いてポンプアップしている下ノ川中継ポンプ場の光熱水費や修繕料等の維持管理に係る経費。
------	---

現状、背景、課題	下ノ川中継ポンプ場は、境地区などからの汚水を集めて国道431号線沿いの汚水幹線へポンプアップするため、平成13年度に運転を開始している。
----------	--

事業計画・効果	<p>下ノ川中継ポンプ場の機能維持や安全性の確保を図るため、年次的に修繕等を含む機器点検を実施する。</p> <p>下ノ川中継ポンプ場機器点検状況（修繕、部分更新・点検整備・消耗品更新）          令和5年度 2,712千円（交換用UPS購入、No.1主ポンプ・脱臭ファン点検整備ほか）          令和6年度 1,201千円（突発的機器修繕費、発電機点検整備ほか）          令和7年度以降も、順次、制御盤、No.2主ポンプ点検整備等を実施する予定。</p>
---------	---

収入・支出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予算	実績	予算	予算前年度比較	予算	名称
事業費	5,024	3,232		△ 1,792	3,232	下水道使用料
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	5,024	3,232	△ 1,792		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度支出内訳	備消費費	消耗品費（送風機フィルター）、庁用器具費（消火器）	100
	光熱水費	上水道料金	19
	動力費	電気料金、A重油	1,679
	修繕費	機器等突発修繕	110
	保険料	建物総合損害共済	25
	委託料	保守委託料（機器点検業務、電気保安業務ほか）、 下水道汚泥処分委託料（沈砂槽清掃、沈砂及びし渣処分委託）、情報配信委託料	1,299

区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	1	3	処理場費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	下水道センターに集めた汚水を浄化処理することにより、公共用水域の水質を保全し、市民の衛生的で快適な生活の確保を図る。
-------	--

事業概要	家庭や事業所などから排出された汚水を汚水管を通じて終末処理場（下水道センター）に集め、浄化処理して美保湾に放流している。平成29年度からは、下水道センター内に整備した汚泥等受入施設に、し尿・浄化槽汚泥を直接投入して、下水道汚水とあわせて浄化処理している。下水道センターを維持管理するために必要な電気・修繕・薬品・汚泥処分などに係る費用を予算化している。
------	--

現状、背景、課題	令和4年度は、年間2,680,195m <sup>3</sup> （日平均：7,343m <sup>3</sup> /日）の汚水を処理し、2,331tの脱水汚泥が発生している。（汚水処理は、し尿1,978m <sup>3</sup> 、浄化槽汚泥4,604m <sup>3</sup> の受入分を含む。） 循環型社会の構築のため、平成25年度から民間企業に委託して汚泥発生量の全量を炭化し、再資源化を行っている。
----------	---

事業計画・効果	下水道センターの機能維持や安全性の確保を図るため、年次的に修繕等を含む機器点検を実施する。 下水道センター機器点検（修繕、部分更新・点検整備・消耗品更新） 令和5年度 32,702千円（水中攪拌機購入、主ポンプ棟No.2汚水ポンプ点検整備ほか） 令和6年度 41,745千円（減速機購入、No.3送風機点検整備、通路舗装補修工事ほか） 令和7年度以降も、順次、送風機棟No.1送風機、水処理棟掻き寄せ機・曝気機点検整備等を実施する予定。
---------	--

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算		予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		244,283		254,103	9,820	182,455	下水道使用料
財源内訳	国庫支出金	0		0	0	5,933	米子市汚水処理委託料
	県支出金	0		0	0	39,031	他会計負担金(し尿・浄化槽)
	地方債	0		0	0	26,684	他会計補助金(製造業減免)
	その他	244,283		254,103	9,820		
	一般財源	0		0	0		

令和6年度支出内訳	職員人件費（3人）	
	給料	11,372
	手当	4,016
	賞与引当金繰入額	1,425
	法定福利費	2,953
	法定福利費引当金繰入額	279
	福利厚生費（県互助会）	29
	備用品費	2,971
	消耗品費（水質試験消耗品、機械電気消耗品ほか）、庁用器具費、機械器具費	
	光熱水費	2,642
	下水道センターLPガス代（管理棟、汚泥棟）、灯油代、上水道料金、工業用水料金	
	動力費	39,616
	下水道センター電気料金、非常用発電機用A重油	
	薬品費	15,642
	水処理用滅菌剤（次亜塩素酸ナトリウム）、高分子凝集剤、起泡助剤	
	燃料費	106
	ガソリン（公用車、施設機械）、軽油（ホイールローダー、発電機）、混合油（刈払機）	
	修繕費	4,865
	水処理棟減速機ほか機器交換、水質実験台天板ほか設備修繕、公用車点検ほか	
	通信運搬費	185
	下水道センター電話料	
	手数料	319
	検査手数料（水質分析等手数料）、廃棄物処分手数料	
	保険料	241
	自動車損害共済、ホイールローダ自賠責保険、建物災害共済	
	委託料	166,784
清掃委託料（水処理棟沈砂槽清掃、汚泥等受入棟清掃・沈砂処分、残渣処分、樹木管理）		
保守委託料（施設機器点検委託、下水道事業設備台帳システム保守、電気保安業務ほか）		
運転委託料（下水道センター等施設運転管理委託料）		
下水道汚泥処分委託料（脱水汚泥処分、脱水汚泥収集運搬、水処理棟沈砂汚泥運搬処分）		
指導委託料（下水道事業団技術援助委託）		
検査委託料（重金属・流入下水分析、A重油地下タンク漏洩検査）		
賃借料	44	
美保湾水質試験用船舶借上料		
工事請負費	614	
補修工事請負費（下水道センター通路舗装補修工事）		



区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	1	4	普及指導費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	排水設備工事指定業者制度により、工事の施工水準を確保する。 水洗トイレへの改造等に多額の費用を要するため、融資制度により負担軽減を図ることで接続率を向上させ、下水道の有効利用と生活環境の改善を促進する。
-------	--

事業概要	公共下水道工事完了後は個々に宅内の排水設備を設置して、下水道に接続する必要があるが、施工技術を有した市の指定業者が施工することを義務付けている。 排水設備工事費用を市内金融機関が無利子で融資する制度を設けており、市は市内金融機関に融資額を預託するとともに融資手数料を支払っている。
------	---

現状、背景、課題	排水設備工事指定業者は75社（令和5年10月2日現在） 融資制度は、融資額が1口10万円～100万円以下で無利子とし、平成30年度より連帯保証人をあつせん申込要件から除き、より利用しやすい制度としている。 令和4年度末の下水道整備済区域内の接続済人口割合は82.0%となっている。平成19年度から未接続の世帯を管理し、未接続理由等を把握するとともに、早期の接続を要請している。
----------	--

事業計画・効果	未接続台帳を管理しながら、接続勧奨通知を送付することで、下水道接続を促す。 令和5年度通知実績 299件（中浜地区・余子地区未接続分） 143件（令和3年3月・5月・6月供用開始分）  過去の実績 令和元年度：116件、令和2年度：159件、令和3年度：128件令和4年度：150件
---------	--

収入・支出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	5,546	6,102	556	162	下水道使用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	470	排水設備工事業者指定手数料
	県支出金	0	0	0	1	水洗便所資金融資預託金利息
	地方債	0	0	0	5,469	他会計負担金(水洗化普及)
	その他	5,546	6,102	556		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度支出内訳	職員人件費（1人）			
	給 料		2,826	
	手 当		1,297	
	賞与引当金繰入額		351	
	法定福利費		791	
	法定福利費引当金繰入額		68	
	福利厚生費（県互助会）		9	
	備用品費	排水設備事務用品費		7
	印刷製本費	供用開始通知用窓あき封筒		31
	通信運搬費	供用開始通知、下水道接続勧奨通知郵送料		52
	手 数 料	水洗便所等改造資金融資取扱手数料、事業場排水分析検査手数料		670

区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	1	5	業務費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	公営企業会計のもとで、下水道事業の経営の健全化や安定化を図るため、収益的支出（汚水処理経費、施設維持管理費、汚水処理事務経費、下水道事業債支払利息等）に充てる財源を確保する。
-------	---

事業概要	下水道使用料の賦課徴収に要する事務経費。 下水道使用料は、水道等の使用水量に応じて2か月ごとに賦課している。
------	---

現状、背景、課題	下水道使用料は、一般汚水は従量制かつ累進制(水量区分が上がると単価が上昇)による算定を行い、温泉汚水(平成29年度に新設)は累進制を適用せずに算定を行っている。
----------	--

事業計画・効果	一般汚水の下水道使用料（消費税10%を含む額）			
	使用料区分	排 除 汚 水 量	使 用 料	
	基本使用料	20m <sup>3</sup> まで（2か月あたり）	2,860 円	
	超過使用料	20m <sup>3</sup> を超え 40m <sup>3</sup> までの分	1 m <sup>3</sup> につき	187.0 円
		40m <sup>3</sup> を超え 100m <sup>3</sup> までの分		211.2 円
		100m <sup>3</sup> を超え 200m <sup>3</sup> までの分		271.7 円
		200m <sup>3</sup> を超え 1,000m <sup>3</sup> までの分		319.0 円
		1,000m <sup>3</sup> を超え 2,000m <sup>3</sup> までの分		332.2 円
	2,000m <sup>3</sup> を超える分		344.3 円	

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		14,862	15,498	636	11,704	下水道使用料
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	20	督促手数料(下水道使用料)
	県支出金	0	0	0	1	延滞金(下水道使用料)
	地方債	0	0	0	3,773	他会計負担金(水質規制)
	その他	14,862	15,498	636		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度支出内訳	職員人件費（1人）	
	給料	3,381
	手当	1,994
	賞与引当金繰入額	458
	法定福利費	1,063
	法定福利費引当金繰入額	88
	福利厚生費（県互助会）	12
	備用品費	5
	消耗品費（事務用品費）	
	印刷製本費	655
	下水道使用料納付書・口座振替通知書等印刷費	
	修繕費	55
	量水器更新取替1基、量水器突発修繕1基	
	通信運搬費	3,933
	下水道使用料納付書・口座振替通知書等郵送料	
手数料	1,354	
公金取扱手数料（下水道使用料）、その他の手数料（預金調査照会）		
委託料	2,450	
作成委託料		
使用料賦課資料作成業務委託（委託先：米子市水道局）		
（債務負担R6～R10）境港営業所廃止に伴う情報端末設置		
工事請負費	50	
新設工事請負費（量水器新規取付工事）		

区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	1	6	総係費	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	<p>公営企業会計のもとで、下水道事業の経営の健全化や安定化について検討し、経営戦略の改定を行い、令和7年度までに公表する。</p> <p>また、日本下水道協会、中国四国地方下水道協会、鳥取県下水道協会の構成員として、県や他市町村等と連携しながら、下水道の普及促進を図る。</p>
-------	--

事業概要	<p>下水道事業の財源である下水道使用料について、外部の意見を聞くために下水道料金等審議会を開催する。</p> <p>公営企業会計移行後に生じた、公共下水道事業公営企業会計システム運用保守、会計処理及び財務諸表の作成支援業務、公金取扱一般事務経費、ファームバンキング利用料を計上する。</p> <p>また、下水道の普及促進に関する各種活動を行っている日本下水道協会などに加盟して、協会運営に必要な会費を負担する。</p>
------	--

現状、背景、課題	<p>総務省要請により、改定した経営戦略の公表について、令和7年度末までに実施する必要がある。</p> <p>下水道使用料の単価や料金体系、または受益者負担金の区域や単価に関わる変更を行う際には、審議会を開催する。</p> <p>日本下水道協会の主な活動内容は、下水道に関する経営と技術の調査研究、財源確保や施策実現の要望、技術指針や機関紙等の発行、情報提供、広報活動、講習会の実施等である。</p>
----------	--

事業計画・効果	<p>経営戦略改定事業について</p> <p>複数のシミュレーションにより持続可能な経営に必要な料金体系を検討し、適正な料金改定に役立てる。</p> <p>改定経営戦略（計画期間10年間）において収支均衡を確保する計画を検討し、社会資本整備総合交付金の交付要件を満たすことで、雨水事業費を含む事業費の財源を確保する。</p> <p>《参考》現行の経営戦略について 境港市下水道事業経営戦略(平成29年3月策定、計画期間：平成28年度～令和7年度)</p>
---------	---

収入・支出の推移 (単位：千円)	令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費	30,069	34,081	4,012	34,044	下水道使用料
財源内訳	国庫支出金	0	0	4	下水道事業普通預金利息
	県支出金	0	0	32	行政財産占用使用料
	地方債	0	0	1	消費税還付加算金
	その他	30,069	34,081	4,012	
	一般財源	0	0	0	

令和6年度支出内訳	職員人件費（3人）	
	給料	12,991
	手当	5,988
	賞与引当金繰入額	1,842
	法定福利費	3,821
	法定福利費引当金繰入額	369
	福利厚生費（県互助会）	42
	公共下水道事業会計における追加費用等	
	法定福利費	803
	職員人件費（会計年度職員1人）	
	給料	1,627
	手当	470
	法定福利費	309
	報酬	180
	審議会委員報酬（3,000円×15人×4回）	
	手数料	51
	公金取扱手数料（公金取扱一般事務経費、ファームバンキング利用料）	
	委託料	4,395
	保守委託料	
	公共下水道事業公営企業会計システム運用保守	
	指導委託料	
	令和6年度会計処理及び財務諸表の作成支援業務	
	経営戦略改定及び料金改定支援業務	
負担金	145	
会費負担金		
（公社）日本下水道協会会費、中国四国地方下水道協会会費、鳥取県下水道協会会費		
貸倒引当金繰入額	1,048	
貸倒引当金繰入額（現年度下水道使用料）		

区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	1	7	減価償却費	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	時間の経過により「資産」の価値が減少した分に相当する金額を、その年度で使用した費用（減価償却費）として計上し、現在、公共下水道事業会計が保有している資産価値を正確に把握する。
-------	---

事業概要	下水道センターの管理棟等の「建物」、公共下水道の污水管渠等の「構築物」、下水道センターの水中攪拌機等の「機械及び装置」、積算用大判プリンター等の「工具・器具及び備品」等の「有形固定資産」と、ソフトウェア等の「無形固定資産」について、建物・管渠・備品等ごとに定めた耐用年数から減価償却費を算定する。ただし、固定資産に分類される土地については、経年劣化しないため減価償却の対象にならない。
------	--

現状、背景、課題	一般会計などの官庁会計には存在しない公営企業会計特有の科目であり、現金支出を伴わない費用である。 収益的収支と資本的収支の二つの方法で資産管理を行う企業会計において、長期間使用を前提とする資本的な資産の価値を平準化しつつ単年度の収益的な費用を計上することで、現存資産価値を更新する役割を果たしている。
----------	---

事業計画・効果	年数の経過に伴って、過去に整備した管渠等の資産価値が減少することになるため、当年度の減少相当額を現金支出を伴わない費用として計上する。 また、この費用に対応する財源のうち、長期前受金戻入については、収益的収入として予算計上されるが、これも現金収入を伴わない収入である。
---------	---

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	予 算	名 称
事業費		842,315	853,047	10,732	50,634	下水道使用料			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	14,403	他会計負担金(雨水減耗費)			
	県支出金	0	0	0	393,863	他会計負担金(分流式経費)			
	地方債	0	0	0	394,147	長期前受金戻入			
	その他	842,315	853,047	10,732					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度支出内訳	有形固定資産減価償却費	845,905
	建物、構築物、機械及び装置、工具・器具及び備品	
	無形固定資産減価償却費	7,142
	ソフトウェア、その他無形固定資産	

区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	1	8	資産減耗費	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	土地の売却、機械や備品等の更新や破損による廃棄等の固定資産の除却を行う際に、固定資産台帳に残存する帳簿価額に相当する金額をその年度で使用した費用（資産減耗費）として計上することで、公共下水道事業会計が現在保有する資産価値を正確に把握する。
-------	---

事業概要	固定資産台帳を管理し、登録固定資産の異動の際に適切な事務処理を行うことで、除却資産の価値を正確に把握し、資産減耗費を算出する。
------	---

現状、背景、課題	<p>一般会計などの官庁会計とは異なる公営企業会計特有の科目であり、現金支出を伴わない費用である。</p> <p>収益的収支と資本的収支の2つの方法で資産管理を行う公営企業会計において、長期間使用を前提とする資本的な資産の価値を平準化しつつ単年度の収益的な費用を計上することで、現存資産価値を更新する役割を果たす。</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>有形固定資産の除却損や廃棄損、撤去費等など、現金支出を伴わない費用として計上する。</p> <p>また、この費用に対応する財源のうち、長期前受金戻入については、収益的収入として予算計上されるが、これも現金収入を伴わない収入である。</p>
---------	--

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		1,177	50	△ 1,127	50	長期前受金戻入			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0					
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	1,177	50	△ 1,127					
一般財源		0	0	0					

令和6年度支出内訳	有形固定資産除却費 有形固定資産除却費（更新機械設備・破損機器等）	50
-----------	--------------------------------------	----

区 分	款	項	目	目 名	種 別
収益的支出	1	2	1	支払利息及び企業債取扱諸費	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に		11	住み続けられるまちづくりを

事業の目的	下水道建設費の財源確保や住民負担の世代間の公平化を図るために、過去に借入した長期借入金（企業債）の利息を支払う。
-------	--

事業概要	下水道施設（污水管、処理場、水路など）を整備する際に、単年度では財源確保が困難であるため借入を行うが、住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）するために、これまで借入した長期借入金の利息を返済する。 また、当該年度内の一時的な現金の不足をまかなうために借り入れる一時借入金の利息を支払う。
------	--

現状、背景、課題	下水道事業費特別会計の借入金残高は、令和4年度末で約115.5億円となっている。 市の中期財政計画では、公共下水道事業会計において将来の返済の適正額や毎年の借入額の上限を設定し、返済額を抑制するように管理している。
----------	--

事業計画・効果	長期借入金支払利息の履歴と種別					
		建設改良	特別措置	平準化債	法適用債	年度合計
	令和3年度実績	143,405	1,502	645	4	145,556
	令和4年度実績	136,418	1,521	517	124	138,580
	令和5年度見込	137,662	1,784	391	460	140,297
	令和6年度予算	146,252	2,319	260	428	149,259

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費		140,993	149,759	8,766	133,028	下水道使用料	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	13,983	他会計負担金(雨水工事利息)	
	県支出金	0	0	0	1	他会計負担金(災害復旧利息)	
	地方債	0		0	2,319	他会計負担金(特別措置利息)	
	その他	140,993	149,759	8,766	428	他会計負担金(法適用債利息)	
	一般財源	0	0	0			

令和6年度支出内訳	建設企業債償還金	149,759
	企業債利息	149,259
	下水道事業債利息	
	一時借入金利息	500
	一時借入金利息	



## 令和6年度 境港市公共下水道事業会計 当初予算総括表

### 資本的収入

(単位：千円)

款	項	目	令和6年度	令和5年度	増 減	主 な 内 容	資料 ページ	
1.	資本的収入		2,137,515	1,969,389	168,126		—	
	1.	企業債	1,210,000	1,158,100	51,900		—	
		1. 建設企業債	1,210,000	1,158,100	51,900	下水道事業債（建設改良債） 下水道事業債（特別措置債）	1,170,000 40,000	16
	2.	他会計負担金	146,423	22,958	123,465		—	
		1. 他会計負担金	146,423	22,958	123,465	一般会計負担金（特別措置債・法適用債等の元金償還に要する経費）		16
	3.	他会計補助金	69,380	223,563	△154,183		—	
		1. 他会計補助金	69,380	223,563	△154,183	一般会計補助金（建設改良費分）		16
	4.	補助金	591,500	465,800	125,700		—	
		1. 国庫補助金	591,500	465,800	125,700	社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金	508,700 82,800	16
	5.	負担金	70,210	48,968	21,242		—	
		1. 受益者負担金	70,210	48,968	21,242	受益者負担金（現年度分） 受益者負担金（滞納繰越分）	69,073 1,137	16
	6.	その他資本的収入	50,002	50,000	2		—	
		1. その他資本的収入	50,002	50,000	2	水洗便所等改造資金融資預託金戻入 督促手数料・延滞金（受益者負担金）	50,000 2	16

### 資本的支出

(単位：千円)

款	項	目	令和6年度	令和5年度	増 減	主 な 内 容	資料 ページ	
1.	資本的支出		2,648,870	2,467,786	181,084		—	
	1.	建設改良費	1,902,180	1,720,679	181,501		—	
		1. 管渠建設改良費	1,886,622	1,642,574	244,048	職員人件費（7人） 報 償 費（受益者負担金前納報奨金） 委 託 料（計画検討業務、設計業務等） 補 償 費（工事に伴う支障移転補償費） 工事請負費（芝汚水幹線築造工事等）	47,959 10,977 231,929 175,600 1,415,460	17
		2. 処理場建設改良費	13,000	0	13,000	下水道センター再構築基本設計業務委託		25
		3. 有形固定資産購入費	2,558	8,605	△6,047	管渠用地購入費（外江西マンホールポンプ用地） 機械及び装置購入費	204 2,354	26
		ポンプ場建設改良費	0	7,600	△7,600			
		無形固定資産購入費	0	61,900	△61,900			
	2.	企業債償還金	695,690	697,107	△1,417		—	
		1. 企業債償還金	695,690	697,107	△1,417	下水道事業債元金（長期借入金元金償還金）		27
	3.	その他資本的支出	50,000	50,000	0		—	
		1. その他資本的支出	50,000	50,000	0	水洗便所等改造資金融資預託金		28
	4.	予備費	1,000	0	1,000		—	
		1. 予備費	1,000	0	1,000	予備費		無

(単位：千円)

## 公共下水道事業会計 資本的収入

(款) 1. 資本的収入

(項) 1. 企業債

目 名	説 明	
1 建設企業債 1,210,000	下水道事業債（建設改良債） 下水道事業債（特別措置債）	1,170,000 40,000

(款) 1. 資本的収入

(項) 2. 他会計負担金

目 名	説 明	
1 他会計負担金 146,423	資本的支出に対する一般会計負担金	
	下水道事業債のうち雨水処理に係る元金償還	80,844
	災害復旧費の償還に要する経費（元金償還分）	181
	特別措置債の償還に要する経費（元金償還分）	55,552
	地方公営企業法の適用に要する経費（元金償還分）	9,846

(款) 1. 資本的収入

(項) 3. 他会計補助金

目 名	説 明	
1 他会計補助金 69,380	資本的支出に対する一般会計補助金（建設改良費分）	
	下水道に関する計画策定業務に充当する財源 （全体計画、総合地震対策計画、雨水管理総合計画、処理場耐震計画）	57,250
	受益者負担金前納報奨金に要する財源	10,977
	路面復旧費財源及び人件費の一部財源	1,153

(款) 1. 資本的収入

(項) 4. 補助金

目 名	説 明	
1 国庫補助金 591,500	資本的支出に対する国庫補助金	
	社会資本整備総合交付金	508,700
	防災・安全交付金	82,800

(款) 1. 資本的収入

(項) 5. 負担金

目 名	説 明	
1 受益者負担金 70,210	受益者負担金	69,073
	新規賦課分	60,669
	過年度賦課分	8,404
	受益者負担金（滞納繰越分）	1,137

(款) 1. 資本的収入

(項) 6. その他資本的収入

目 名	説 明	
1 その他資本的収入 50,002	水洗便所等改造資金融資預託金戻入	50,000
	督促手数料（受益者負担金）	1
	延滞金（受益者負担金）	1

区 分	款	項	目	目 名	種 別
資本的支出	1	1	1	管渠建設改良費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	<p>公共下水道を早期に整備して、生活環境の改善、公共用水域の水質保全、浸水の防除を図る。 国の交付金事業を活用し、住居地域の令和8年度概成を目指して污水整備を進める。また、公共下水道事業計画区域内の主たる水路を整備・改修することにより、雨水を排除し道路の冠水や建物の浸水を防いで浸水被害の軽減を図る。</p>
-------	---

事業概要	<p>公共下水道污水管渠整備について、芝污水幹線築造工事ほか、渡町、清水町、外江町、森岡町、中野町の污水工事14件、マンホールポンプ築造工事1件を発注する予定である。 雨水工事については、新築工事の外江中央雨水幹線築造工事（2工区）他、改築工事の下ノ川承水路改築工事（4工区）を新たに発注する予定である。 下水道施設（污水管渠、処理場、水路等）建設の計画、設計、工事監督、受益者負担金の賦課徴収、補助金経理事務等に携わる職員の人件費及び事務費を計上する。</p>
------	---

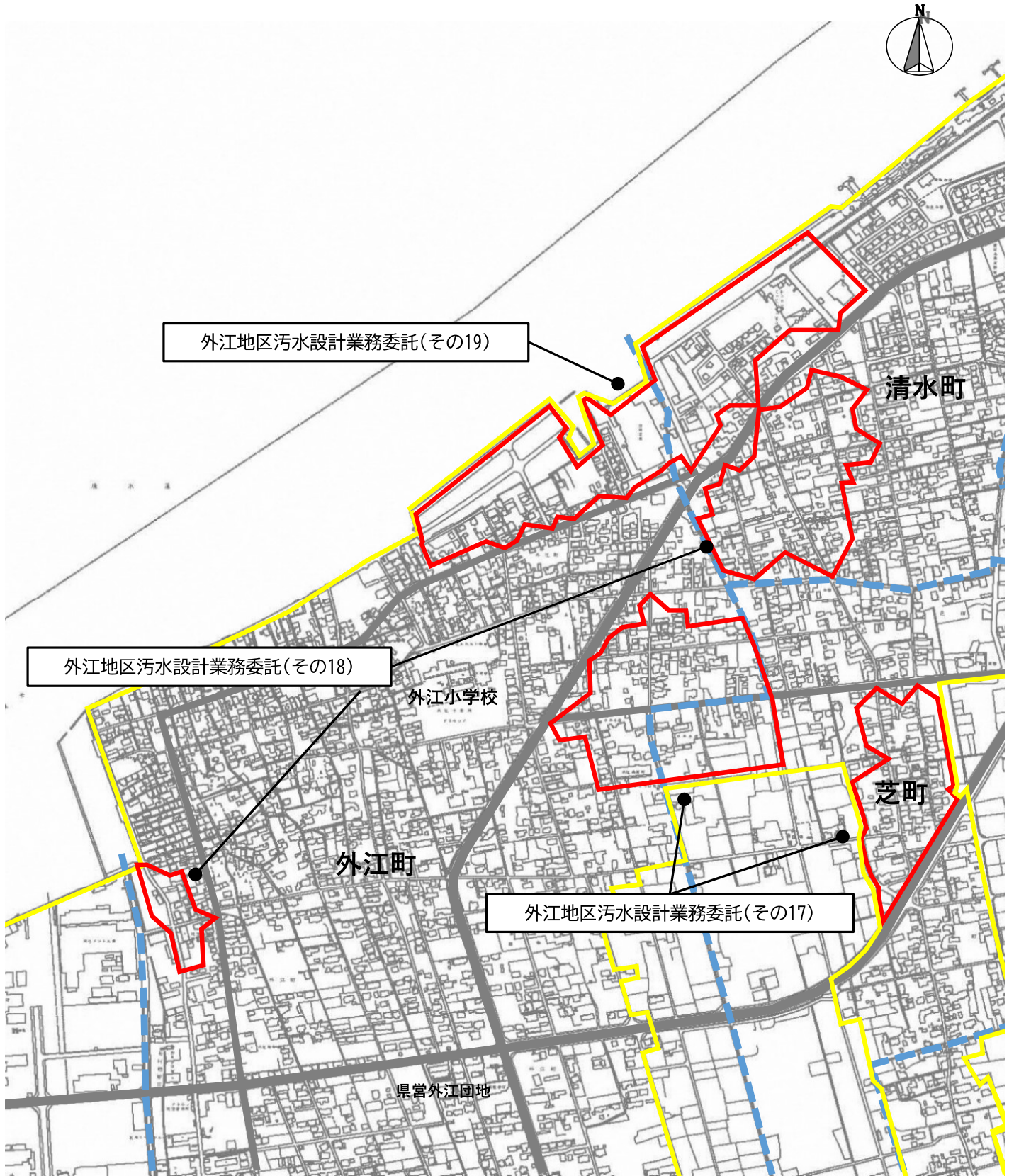
現状、背景、課題	<p>公共下水道整備について、令和4年度末の普及率は85.6%、処理可能人口は28,053人であり、残りの対象者についても早期の下水道接続を求めている。 雨水工事について、令和3年7月豪雨により浸水被害が特に顕著であった市道外江14号線周辺の側溝改修等工事の詳細設計業務を行い、令和5年度に着手した外江中央雨水幹線築造工事を令和6年度中に完成させ、続いて同年度中に外江中央雨水幹線築造工事（2工区）他工事を行う予定としている。また、下ノ川承水路の老朽化に伴い、改築工事を進めている。</p>
----------	---

事業計画・効果	<p>債務負担行為を活用しながら、施工時期の平準化に取り組んでいる。</p> <p>(債務負担行為 R6～R7年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>芝污水幹線築造工事、清水町污水枝線(その1)工事、外江町污水枝線(その27～その30、その33、その34)工事、中野町污水枝線(その25)工事、上道1号污水幹線(6工区)外污水枝線工事、渡町污水枝線(その37)工事</li> <li>外江中央雨水幹線築造工事(2工区)他、下ノ川承水路改築工事(4工区)</li> <li>污水幹線築造工事等及び雨水幹線築造工事等に伴う支障移転補償費</li> </ul> <p>(債務負担行為 R5～R6年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雨水管理総合計画策定業務委託</li> <li>境港2号污水幹線築造工事(19工区)、渡町污水枝線(その33、その35)工事、外江町污水枝線(その18～その25)工事</li> <li>污水榭新設(その1)工事、芝町污水枝線(その1)工事、外江町污水枝線(その31、その32)工事、芝町污水枝線(その1)工事外2工事に伴う支障移転補償費</li> <li>外江中央雨水幹線築造工事、下ノ川承水路改築工事(3工区)</li> </ul>
---------	---

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称		
事業費		1,642,574	1,886,622	244,048	62,880	他会計補助金		
財源内訳	国庫支出金	431,050	585,000	153,950	68,740	受益者負担金		
	県支出金	0	0	0	1	督促手数料(受益者負担金)		
	地方債	1,109,300	1,170,000	60,700	1	延滞金(受益者負担金)		
	その他	102,224	131,622	29,398				
	一般財源	0	0	0				


令和6年度支出内訳	職員人件費（7人）	
	給料	25,032
	手当	11,460
	賞与引当金繰入額	3,355
	法定福利費	7,365
	法定福利費引当金繰入額	666
	福利厚生費（県互助会）	81
	報償費（受益者負担金前納報奨金）	10,977
	備用品費（積算用事務費など消耗品）	1,072
	燃料費（公用車ガソリン）	174
	印刷製本費（受益者負担金納付書、公用封筒印刷費）	167
	修繕費（公用車の車検費用、法定点検費用、修繕料）	193
	路面復旧費（下水道工事に伴う道路等復旧工事）	1,000
	通信運搬費（受益者負担金納付書送付、工事説明会案内通知ほか）	582
	手数料（公金収納取扱手数料・受益者負担金）	150
	保険料（自動車損害共済、自動車賠償責任保険料）	73
	委託料（計画整備係CAD保守料）	99
	賃借料（下水道設計積算システム賃借料）	1,274
	公課費（自動車重量税・公用車2台）	12
	委託料	231,830
	調査計画委託料	101,400
	社会資本整備総合交付金事業（境港市公共下水道全体計画検討業務）	
	防災・安全交付金事業（下水道総合地震対策計画検討業務、雨水管理総合計画策定業務）	
	測量設計委託料	130,430
	社会資本整備総合交付金事業（外江地区污水設計業務 3件）	
	防災・安全交付金事業（矢尻川雨水幹線詳細設計業務）	
	起債事業（外江地区污水設計業務 3件、公共下水道整備積算業務）	
	補償費	175,600
	移設補償費	
	社会資本整備総合交付金事業（污水枝線工事に伴う支障水道管移転12件等）	
	防災・安全交付金事業（外江中央雨水幹線築造工事（2工区）他に伴う支障水道管移転）	
起債事業（污水・雨水工事に伴う支障水道管移転13件、支障配電線路等移転）		
工事請負費	1,415,460	
新設工事請負費	1,345,860	
社会資本整備総合交付金事業	818,060	
芝污水幹線築造工事ほか污水工事13件、MP築造工事1件、前年度債務負担工事		
防災・安全交付金事業	55,000	
外江中央雨水幹線築造工事（2工区）他、前年度債務負担工事		
起債事業	472,800	
芝污水幹線築造工事ほか污水工事13件外江中央雨水幹線1件、前年度債務負担工事		
公共污水柵新設工事 N=70か所、本管2か所		
改良工事請負費	69,600	
起債事業		
下ノ川承水路改築工事（4工区）、前年度債務負担工事		

令和6年度 下水道設計業務委託予定箇所図

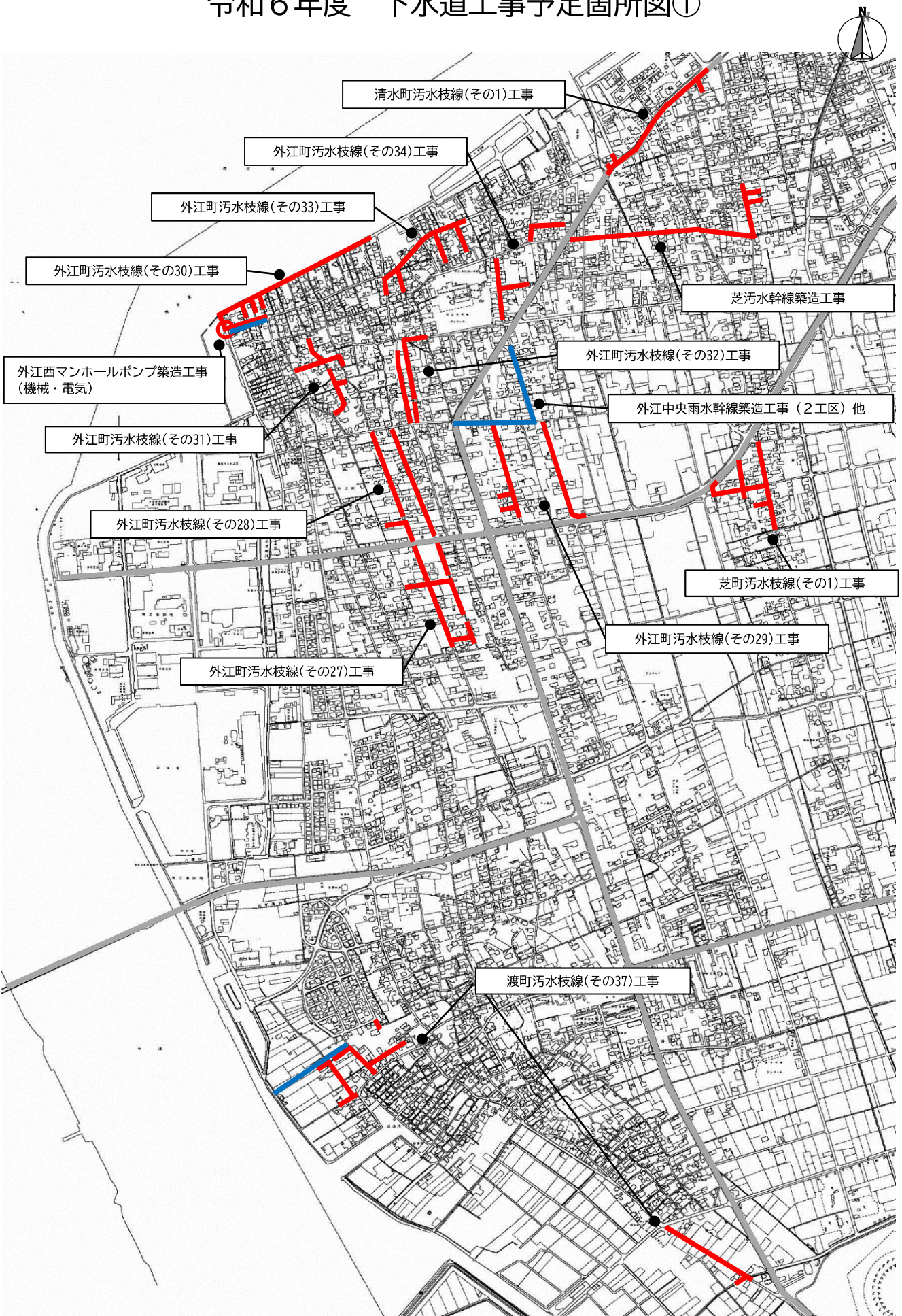


# 矢尻川雨水幹線詳細設計業務委託

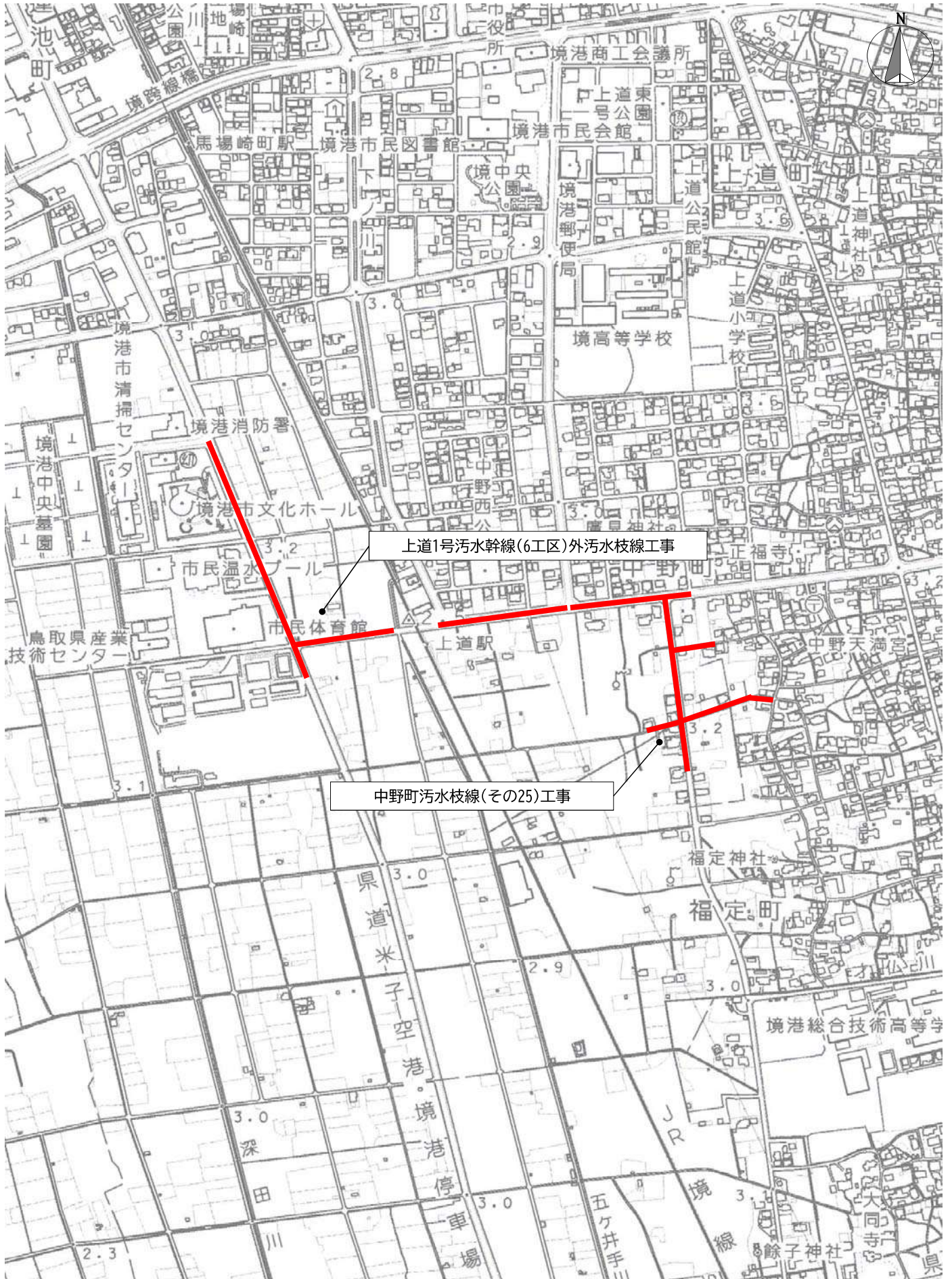


凡例	
管路施設実施（詳細）設計	
推進工法（中大口径）	

# 令和6年度 下水道工事予定箇所図①

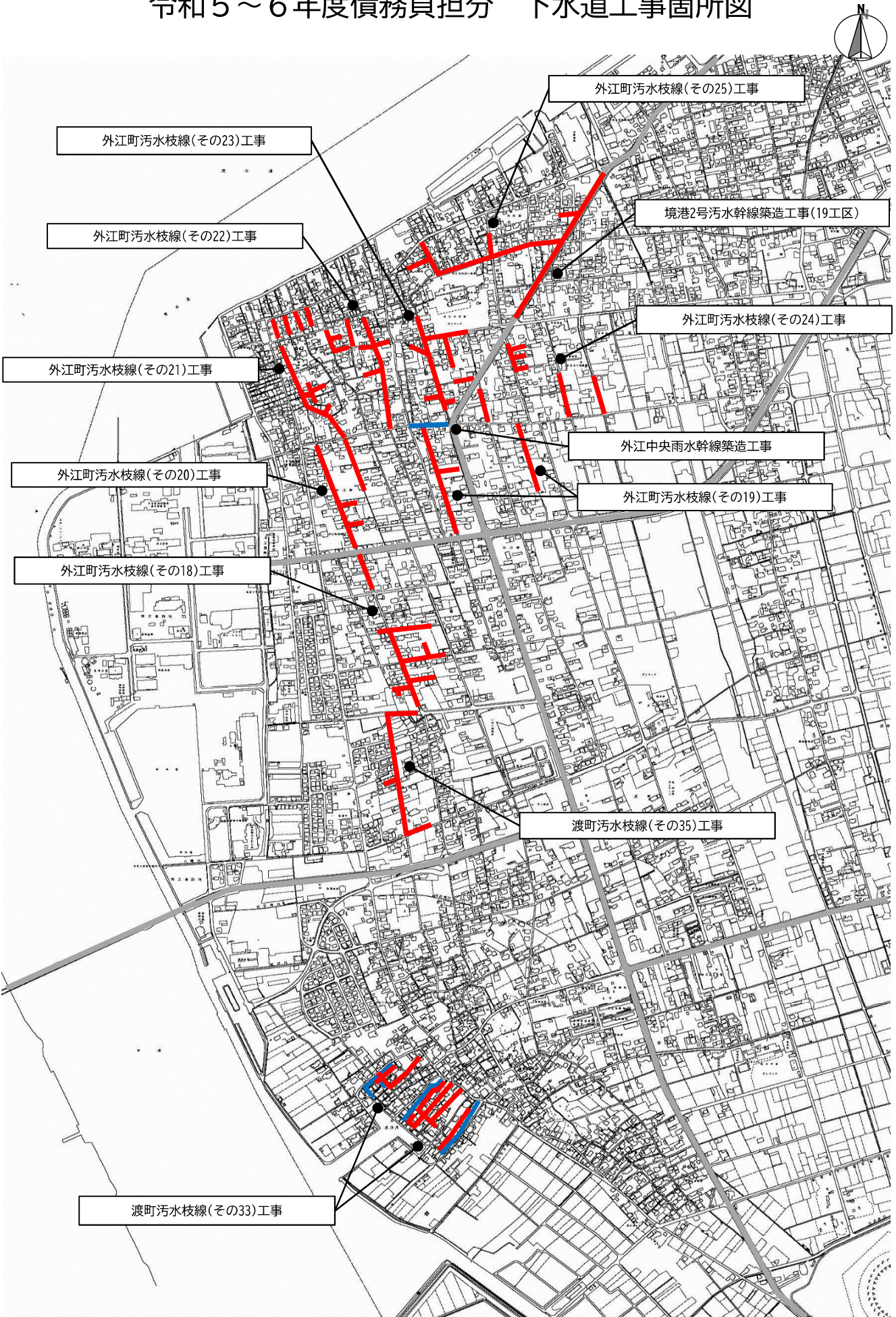


# 令和6年度 下水道工事予定箇所図②

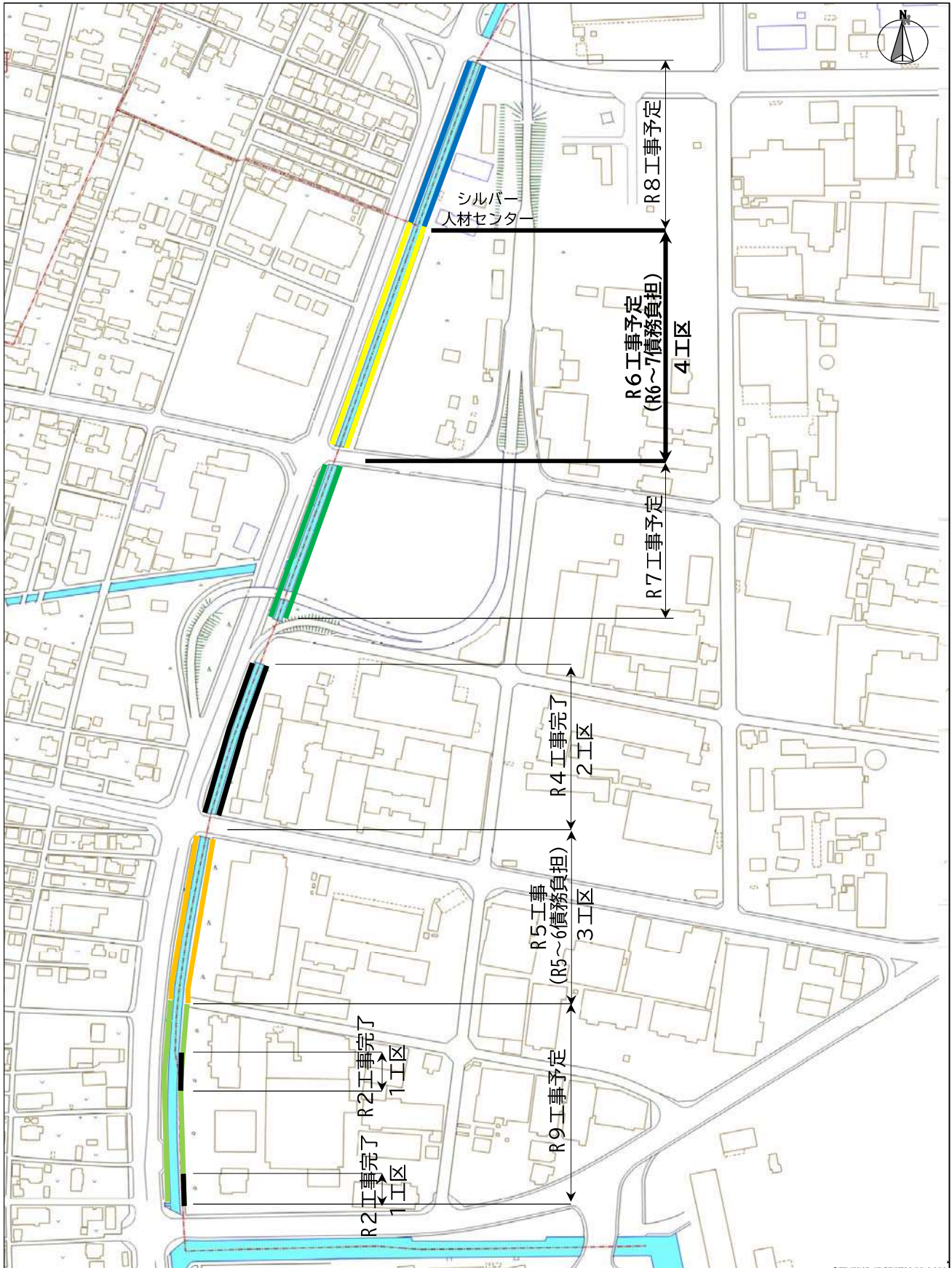




# 令和5～6年度債務負担分 下水道工事箇所図



# 下ノ川承水路改築工事予定箇所図



区 分	款	項	目	目 名	種 別
資本的支出	1	1	2	処理場建設改良費	新規
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	<p>令和元年度までは、国の交付金により改築更新工事を行うため、長寿命化計画を作成して事業を実施していたが、長寿命化計画は廃止となり、今後、下水道施設の改築更新工事を行うためには、ストックマネジメント計画を作成する必要がある。</p> <p>機械電気施設の標準耐用年数は概ね15年であり、管路施設の50年に比べて耐用年数が短いため、今後の改築更新を交付金で実施するためには、日ごろから定期的な点検調査や維持管理を実施したうえ計画的に下水道センターの改修等を実施する必要がある。</p>
-------	--

事業概要	<p>令和2年度から国の防災・安全交付金を活用し、下水道センター他処理施設のストックマネジメント計画を策定した。今後の改修等はストックマネジメント計画に基づいて実施する予定であるが、施設の耐震性を確保する必要が生じたことから、令和5年度から対象施設の耐震診断を実施しながら、耐震補強やストックマネジメント計画に基づく改修等を含めた施設の再構築計画を立て、計画的に下水道センターの改修等を実施する。</p>
------	--

現状、背景、課題	<p>下水道センターは、これまで長寿命化計画に基づき防災・安全交付金を活用して、水処理施設(H27～H29)、汚泥処理施設(H29～R1)の機械電気設備改築更新等を行ってきたが、その後、交付金を活用して下水道施設の改築更新工事を行うためには、ストックマネジメント計画の策定が必須要件となったことから、令和2年度から3年度にかけて、ストックマネジメント計画を策定している。</p> <p>また、令和5年度に無形固定資産購入費で計上した処理場施設の基本構想及び耐震計画の策定経費について、公営企業会計の経理の中で、より適切な計上費目への見直しを行い、処理場建設改良費として仕分けする。</p>
----------	--

事業計画・効果	<p>半永久的に稼働し続ける下水道センターの機能維持や安全性の確保を図るため、耐震対策や老朽化対策について、計画的に実施する。</p> <p>令和5年度 基本構想策定、主ポンプ棟・管理棟・汚泥処理棟の耐震計画策定(6年度に完了)</p> <p>令和6年度 受泥濃縮棟の耐震計画策定</p> <p>・令和7年度以降は、耐震計画とストックマネジメント計画をもとに、施設(機械・設備含む)の改修を進める。</p>
---------	---

収入・支出の推移 (単位：千円)	令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
	予 算	予 算	予 算	予 算前年度比較	予 算	名 称
事業費	0	13,000	13,000	13,000	6,500	他会計補助金
財源内訳	国庫支出金	0	6,500	6,500		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	0	6,500	6,500		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度支出内訳	委託料	13,000
	調査計画委託料	
	交付金事業(補助率1/2・防災安全交付金)	
	境港市下水道センター再構築基本設計(耐震実施計画)業務委託 (耐震実施計画対象施設：受泥濃縮棟)	

区 分	款	項	目	目 名	種 別
資本的支出	1	1	3	有形固定資産購入費	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	土地及び長期間にわたって使用する機械及び装置購入費、工具器具及び備品購入費について、単年度に効果を限定する維持管理に係る収益的支出ではなく、長期間にわたって利益を得ることができ資本を形成するため、有形固定資産として資本的支出（投資的な性質を持つ費用）に費目を計上する。
-------	--

事業概要	土地の購入費、長期間の使用を見込む100万円以上の機械や装置の購入費、同様に長期間の使用を見込む20万円以上の工具器具や備品の購入費については、有形固定資産購入費として計上する。
------	---

現状、背景、課題	新規に購入する機械類・備品類について固定資産台帳に登録し、資産の種別ごとに定められた償却率により毎年の減価償却を行い、固定資産が更新や破損により除却される際には残存する帳簿価額を資産減耗費として計上し、保有する固定資産の価値を適切に把握する。
----------	---

事業計画・効果	令和6年度築造予定の外江西マンホールポンプ用地購入費及びマンホールポンプ機械設備に付随する大型の機械消耗部品等の購入費を計上しており、適切に固定資産の価値を把握し、管理する。
---------	---

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度			令和6年度			その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	予 算	予 算	名 称	
事業費		8,605	2,558	△ 6,047	204	受益者負担金			
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	2,354	補填財源（3条予算）			
	県支出金	0	0	0					
	地方債	0	0	0					
	その他	8,605	2,558	△ 6,047					
	一般財源	0	0	0					

令和6年度支出内訳	用地購入費	204
	管渠用地購入費（外江西マンホールポンプ用地購入費）	
	機械及び装置購入費	2,354
	管渠施設機械設備購入費（渡町MP・渡北MP水中ポンプ）	

区 分	款	項	目	目 名	種 別
資本的支出	1	2	1	企業債償還金	継続
境港市まちづくり総合プラン			5-(4)	自立・持続可能な財政基盤の堅持	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に		11	住み続けられるまちづくりを

事業の目的	下水道建設費の財源確保や住民負担の世代間の公平化を図るために、過去に借り入れた長期借入金（企業債）の元金を償還する。
-------	--

事業概要	下水道施設（污水管、処理場、水路等）を整備するために、単年度で不足する財源を確保することや、住民負担を世代間で公平化（施設を利用する全世代で負担）することを目的として、長期借入金の借り入れを行っており、これまでに借り入れた長期借入金の元金を償還する。
------	---

現状、背景、課題	下水道事業費特別会計の借入金残高は、令和4年度末で約115.5億円となっている。市の中期財政計画では、公共下水道事業会計において将来の返済の適正額や毎年の借入額の上限を設定し、返済額を抑制するように管理している。
----------	--

事業計画・効果	長期借入金元金償還の履歴と種別					
		建設改良	特別措置	平準化債	法適用債	年度合計
	令和3年度実績	637,482	38,006	30,526	0	706,014
	令和4年度実績	632,619	41,278	30,526	136	704,559
	令和5年度見込	614,521	46,800	30,526	5,260	697,107
	令和6年度予算	599,752	55,552	30,540	9,846	695,690

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度		令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予 算	予算前年度比較	予 算	名 称
事業費		697,107	695,690		△ 1,417	80,844	他会計負担金(雨水工事元金)
財源内訳	国庫支出金	0	0		0	181	他会計負担金(災害復旧元金)
	県支出金	0	0		0	55,552	他会計負担金(特別措置元金)
	地方債	45,000	40,000		△ 5,000	9,846	他会計負担金(法適用債元金)
	その他	652,107	655,690		3,583	266	受益者負担金
	一般財源	0	0		0	509,001	補填財源(3条予算)

令和6年度支出内訳	建設企業債償還金	695,690
	下水道事業債元金（長期借入金元金償還金）	

区 分	款	項	目	目 名	種 別
資本的支出	1	3	1	その他資本的支出	継続
境港市まちづくり総合プラン			4-(6)	市民生活に密着した都市基盤の整備	
SDGs	6	安全な水とトイレを世界中に			

事業の目的	排水設備工事指定業者制度により、工事の施工水準を確保する。水洗トイレへの改造等に多額の費用を要するため、融資制度により負担軽減を図ることで接続率を向上させ、下水道の有効利用と生活環境の改善を促進する。
-------	--

事業概要	公共下水道工事完了後は個々に宅内の排水設備を設置して、下水道に接続する必要があるが、施工技術を有した市の指定業者が施工することを義務付けている。 排水設備工事費用を市内金融機関が無利子で融資する制度を設けており、市は市内金融機関に融資額を預託するとともに融資手数料を支払っている。
------	---

現状、背景、課題	排水設備工事指定業者は75社（令和5年10月2日現在） 融資制度は、融資額が1口10万円～100万円以下で無利子とし、平成30年度より連帯保証人をあつせん申込要件から除き、より利用しやすい制度としている。 令和4年度末の下水道整備済区域内の接続済人口割合は82.0%となっている。平成19年度から未接続の世帯を管理し、未接続理由等を把握するとともに、早期の接続を要請している。
----------	--

事業計画・効果	水洗便所等改造資金融資の新規貸付への預託実績					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	新規件数	32件	34件	25件	10件	12件
	新規金額	17,560千円	18,790千円	12,530千円	8,500千円	7,680千円
	継続件数	87件	98件	109件	117件	111件
	継続金額	21,584千円	25,585千円	30,104千円	27,968千円	21,679千円
※令和5年度分は令和5年12月末時点の実績						

収入・支出の推移 (単位：千円)		令和5年度	令和6年度		その他の内訳	
		予 算	予 算	予算前年度比較	予算	名 称
事業費		50,000	50,000	0	50,000	資金融資預託金戻入
財源内訳	国庫支出金	0	0	0		
	県支出金	0	0	0		
	地方債	0	0	0		
	その他	50,000	50,000	0		
	一般財源	0	0	0		

令和6年度支出内訳	水洗便所等改造資金融資預託金	50,000
	新規貸付への預託金（50口）	
	償還残額への預託金（110口）	